



令和3年4月27日 14時00分

資料配布 近畿地方整備局
大阪国道事務所

国土交通省
近畿地方整備局
すみよしばし
国道26号住吉橋架替事業 令和7年春に開通予定

～大阪府における「防災・減災、国土強靱化に向けた

道路の5か年対策プログラム」を公表します～

- 国土交通省では、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」に位置づけられた災害に強い国土幹線道路ネットワークについて、高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、高規格道路と直轄国道とのダブルネットワーク化等による道路ネットワークの機能強化対策を推進することとしています。
- 国道26号住吉橋架替事業は、老朽化の進んだ橋梁を架け替えることで、耐震性能を確保し、大阪府が定める広域緊急交通路の信頼性向上を目的とする事業です。
- 本プログラムにおいて、今後5か年で一定の事業進捗が図られる国道26号住吉橋架替事業の開通見通しを公表します。
- 一日も早い開通に向け、引き続き安全に配慮しながら事業を進めて参りますので、ご理解、ご協力をお願い致します。

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
堺市政記者クラブ 在堺記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所

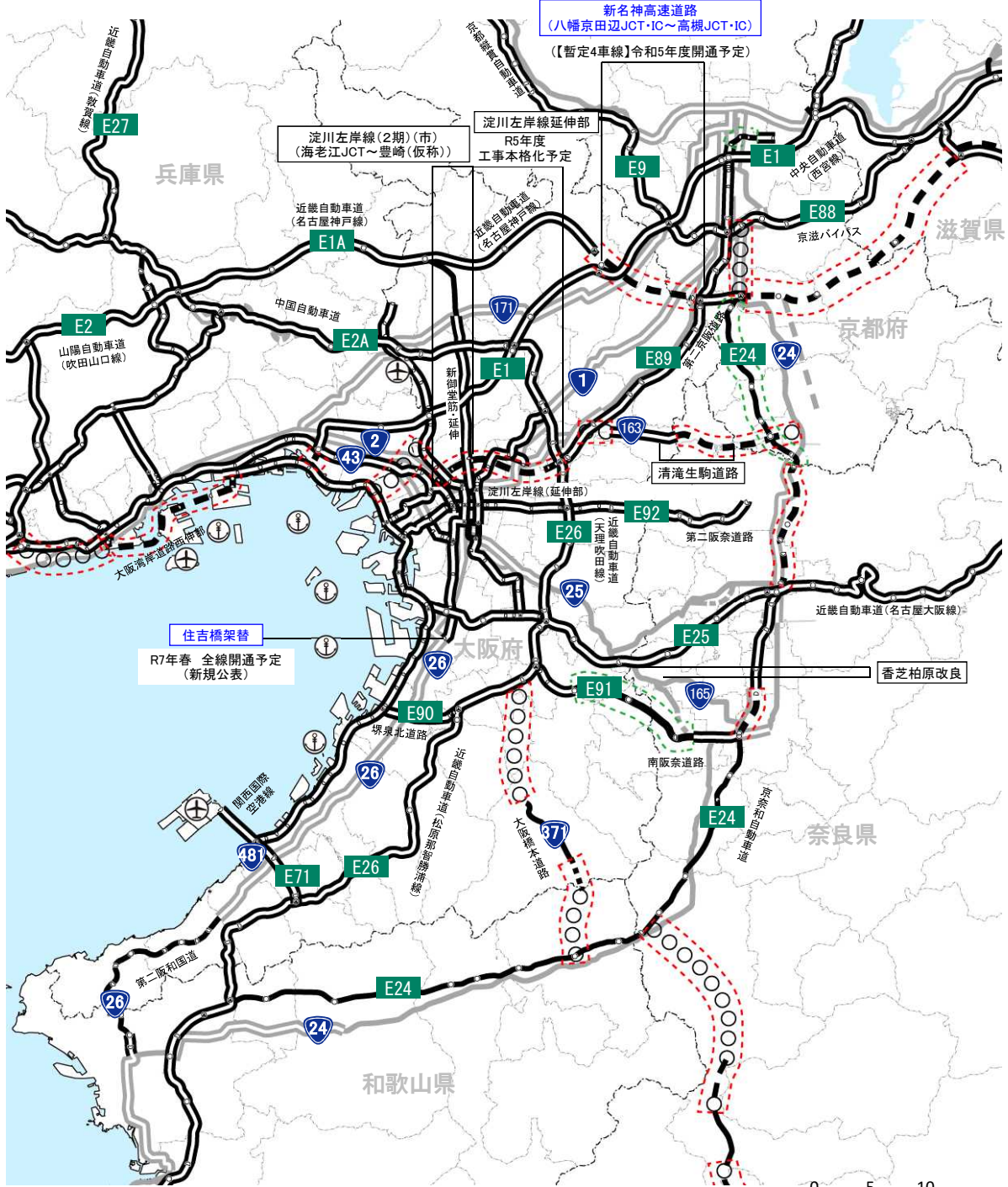
副所長 なかぐち 中口 かずみ 和巳 (内線 205)

地域調整課長 ひがしぐち 東口 たけお 武生 (内線 461)

電話：06-6932-1421 (代表)

災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策

大阪府



0 5 10 20(km)

災害に強い国土幹線道路ネットワーク

高規格道路	4車線以上	2車線	事業中	調査中
直轄国道	4車線以上	2車線	事業中	調査中

※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路(計画路線)をベースに選定(R2.11時点)

主な防災上の課題箇所

ミッシングリンク

暫定2車線[有料](うち優先整備区間)

※その他、大雨や豪雨、津波・越波、地震等による防災上の課題箇所がある。

調査中箇所(ネットワーク) 道路網調査 計画段階評価推進/都計・アセス推進

調査中箇所(交通拠点) 必要性等の調査 整備方針の検討 事業計画の検討

今後5カ年開通予定区間 今後5カ年用地着手区間 今後5カ年工事着手区間

直轄改築・高速 全線開通 R0年度 R0年度
事業中箇所 部分開通 OO地区用地着手 OO地区工事着手
(改良orトンネルor橋梁)

R3年度新規事業化箇所(直轄改築・高速)

※高速会社事業や補助事業は、開通見通しのみ記載している。
※計画段階評価や都市計画・環境アセスに着手している調査箇所については、今後5カ年程度での新規事業化に向けた調査を推進。
※事業内容は、今後5カ年で主に実施する内容を記載している。
※事業進捗見込み等については、今後予算状況等により変更になる場合がある。

■大阪国道事務所の道路事業における新たな開通見通し

開通予定時期	国道 番号	事業名	開通区間	開通 延長
令和7年春	26	すみよしばし 住吉橋架替	さかい さかい りゅうじんばしちよう ちよう 堺市堺区竜神橋町1丁 ～ さかい さかい おおちようにし ちよう 堺市堺区大町西3丁	0.1km

※事業進捗見通し等については、今後予算状況等により変更になる場合がある。

国道26号 住吉橋架替の概要

すみよしばし

国道26号住吉橋は、昭和6年に架設された後、昭和39年、昭和55年の2度にわたり拡幅した複数の橋が一体となった複雑な構造の橋梁です。古い年代の橋のため、現在の耐震強度基準を満足しておらず、老朽化による損傷も進行していました。

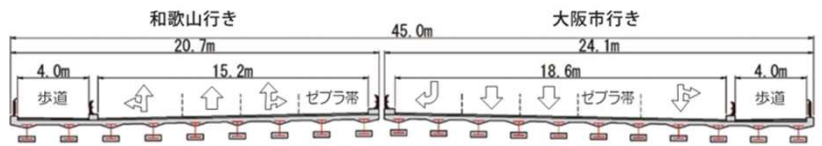
耐震性能を確保するため、橋梁を架け替えることにより、大阪府が定める広域緊急交通路（重点14路線）の信頼性向上を目的とする事業です。

また、住吉橋は、堺市を東西に横断する幹線道路の「フェニックス通り」にあり、「フェニックス通り」は日本の道100選に選定されている堺市のシンボルロードです。

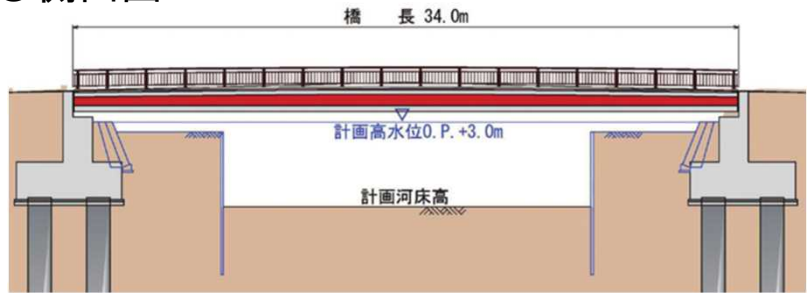
○事業の概要

橋長	34.0m
道路諸元	第4種第1級
車線数	6車線
橋種	単純プレベーム合成桁橋

○標準断面図



○側面図

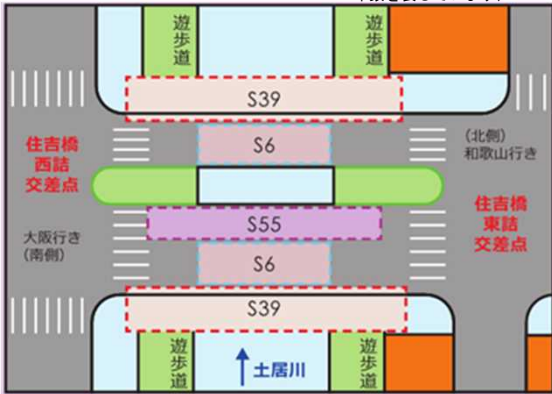


○主な事業の経緯

昭和6年	架設
昭和39年	拡幅
昭和55年	拡幅
平成29年度	橋梁架替 事業化
平成30年度	工事着手

○架設の経緯

※平面図（Sは昭和、数字は年数を表しています）



○完成イメージ図

※イメージ図であり変更となる場合があります。



○位置図



国道26号住吉橋架替

大規模災害時における交通の確保

○国道26号住吉橋を架け替えることにより、耐震性能が向上され、大規模災害発生時の「広域緊急交通路」としての機能確保や、南海トラフ大地震時の津波からの避難路としての機能確保が期待されます。

●住吉橋が架かる国道26号は、「広域緊急交通路」に選定



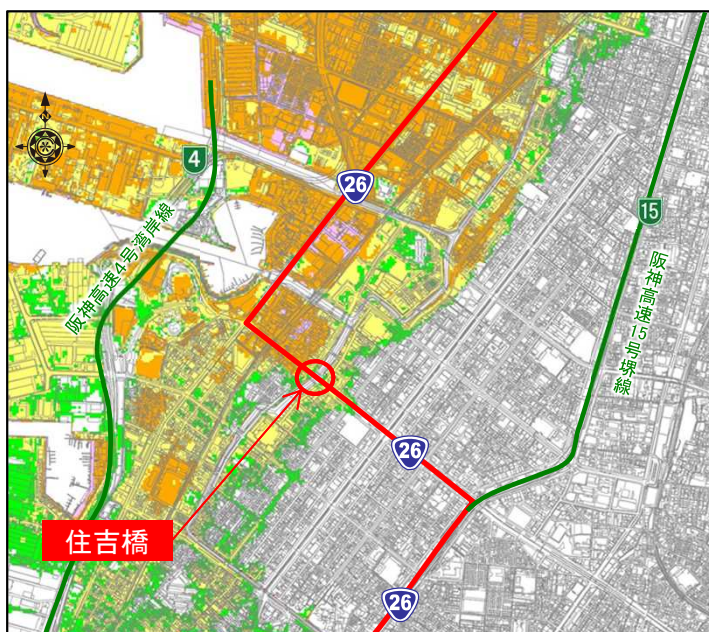
・住吉橋が架かる国道26号は、大阪府が選定した「広域緊急交通路」の内、発災直後の応急対策にあたる緊急車両の通行を最優先で確保する「重点14路線」のひとつに位置付けられ、大規模災害時でも、全線で車両が通行出来るような機能を確保する必要があります。

凡 例			
広域緊急交通路	緊急交通路	自動車専用道路	—
		一般道路 重点14路線	—
		一般道路 その他路線	—
主要な防災拠点	広域防災拠点	●	
	後方支援活動拠点	●	
	輸送基地	●	
陸上自衛隊駐屯地	●		
災害拠点病院	●		
大阪府庁	●		

(注) 点線は、事業中路線を示す。

出典：大阪府地域防災計画 関連資料集 令和3年3月修正

●南海トラフ大地震時の避難路として指定



・住吉橋が架かるエリアは、南海トラフ大地震時の津波により浸水深さが0.3～1.0mとなると予測されています。

・堺市津波避難計画では国道26号の住吉橋が架かる当該区間が東西方向への避難路として指定されています。

【凡例】
浸水深(m)

5.0 ~
4.0 ~ 5.0
3.0 ~ 4.0
2.0 ~ 3.0
1.0 ~ 2.0
0.3 ~ 1.0
0.01 ~ 0.3

出典：大阪府危機管理室 津波浸水想定 詳細図

国道26号

すみよしばし 住吉橋架替の整備状況

